

## 令和2年度 第4回 国立大学法人鹿屋体育大学経営協議会議事要旨

1. 日 時：令和3年1月19日(火) 13時00分～14時45分
  2. 場 所：【鹿屋体育大会場】鹿屋体育大学管理棟2階 大会議室（web会議を同時開催）  
【東京会場】東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター608号室
  3. 出席者：【学内委員】松下、森、前谷、原田の各委員  
【学外委員】泉、上治、小館、宮嶋の各委員
  4. 列席者：秋元監事、小林監事、山田附属図書館長、荻田学長補佐、濱田学長補佐、前阪学長補佐、前田学長補佐、事務局次長兼教務課長、学生課長、総務課長兼学術図書情報課長、経営戦略課長、財務課長、施設課長、監査室長
  5. 内 容  
(質疑の○は学外委員の発言を、●は学内委員及び学内者の発言を示す。以下同じ。)
- 1) 前回議事要旨確認(資料1)  
令和2年度第2回・第3回経営協議会議事要旨(案)について確定された。
  - 2) 学長報告  
(1) 新型コロナウイルス感染症に関する本学の対応について(資料2)  
松下学長から配付資料に基づき、新型コロナウイルス感染症に関する本学の対応について報告があった。
  - 3) 審議事項  
(1) 令和2年度鹿屋体育大学補正予算(案)について(資料3)  
前谷委員から配付資料に基づき、令和2年度鹿屋体育大学補正予算(案)について説明があり、審議の結果原案どおり了承された。  
  
(2) 令和3年度鹿屋体育大学予算編成方針(案)について(資料4)  
前谷委員から配付資料に基づき、令和3年度鹿屋体育大学予算編成方針(案)について説明があり、審議の結果原案どおり了承された。  
  
○対前年度1%さらに減らすと、どのくらいの金額になるのか。  
●約490万円を捻出できる。認証評価にかかる経費が約520万円のため、大体をカバーできることになる。
  - 4) 報告事項  
(1) 中期目標の変更に関する意見提出及び中期計画の変更の認可申請について(資料5)  
永松経営戦略課長から配付資料に基づき、中期目標の変更に関する意見提出及び中期計画の変更の認可申請について報告があり、当初は文部科学省に提出する予定であったが実績報告書等に記載すれば提出の必要はない、との連絡があった旨報告があった。  
  
(2) 国立大学法人鹿屋体育大学クロスポイントメント制度に関する規則の制定等について(資料6)  
羽室総務課長から配付資料に基づき、国立大学法人鹿屋体育大学クロスポイントメント制度に

関する規則の制定等について報告があった。

○資料6-5に制度の活用と効果として女性教員の活躍方策とする等とあるが、鹿屋体育大学では既に具体的な検討が始まっているのか、あるいは今後検討していく予定であるのか。

●鹿児島大学、熊本大学及び宮崎大学との連携大学院の対応を進めるために、まず制度として作った経緯がある。

○ぜひこの制度を推進し、成果を出していただきたい。

●スポーツパフォーマンス研究センターにもこの制度を取り入れていきたい。

(3) 令和3年度概算要求結果について(資料7)

浦口財務課長から配付資料に基づき、令和3年度概算要求結果について報告があった。

(4) 監事監査報告について(資料8)

秋元監事から配付資料に基づき、監事監査について報告があった。

5) 学内外の諸情勢について

(1) 学生の競技成績について(令和2年10月~12月)(資料9)

濱田学長補佐から配付資料に基づき、学生の競技成績について(令和2年10月~12月)説明があった。

(2) 本学関係者の教育・研究上の活躍について(資料10)

松下学長から配付資料に基づき、本学関係者の教育・研究上の活躍について説明があった。

(3) コロナ禍における本学への支援について(資料11)

松下学長から配付資料に基づき、コロナ禍における本学への支援について説明があった。

また、鹿屋市医師会から支援の申出があったため、学生が試合や実習に行く際のPCR検査受診の体制づくりについて協力を依頼している旨報告があった。

6) その他

(1) 令和2年度経営協議会での学外委員からの意見・提言等に対する回答について(資料12)

羽室総務課長から配付資料に基づき、令和2年度経営協議会での学外委員からの意見・提言等に対する回答について説明があった。

○盗撮等への対応であるが、先日、統括7団体で盗撮や暴力防止を含めた打合せを行った。日本スポーツ協会等のホームページに利用できるデータを作成したので活用してほしい。

○新型コロナ対策で海外アスリートの出入国や国内での移動等についてまとまったものがあるので、海外アスリートが鹿屋体育大学を利用する際の参考にしてほしい。

(2) 令和2年度の経営協議会開催日程について(資料13)

羽室総務課長から配付資料に基づき、令和2年度の経営協議会開催日程について説明があった。

(3) 国立大学法人ガバナンス・コードにかかる報告書の意見交換(資料14)

羽室総務課長から配付資料に基づき、国立大学法人ガバナンス・コードにかかる報告書について説明があり、意見交換を行った。

## <意見交換>

- 細かく記載しすぎるとガバナンス・コードを守るためのルール作りになってしまう。  
あくまでも大学を健全に経営していくためのガバナンス・コードであることを考えていくことが必要である。
- 実施しないところはきちんと大学で説明できるよう国大協からも言われている。
- 色々な場面で公表していく必要があると思われるので、「公式ウェブサイト」の後に「等」を入れてはどうか。
- 出身高校へ郵送している蒼天は、現在在籍している学生の出身高校ということか。また、何部発行しているのか。ホームページに掲載したらよいのではないか。
- 現在在籍している学生の出身高校及び保護者に郵送しており、1500部発行している。紙媒体での郵送の方が効果があるが、ホームページにも掲載している。
- 監事の常勤化の原案については、「小規模であることをふまえ、現行体制により監事が適切に監査業務を遂行できるよう努めてまいります」としたい。
- 次回2月に開催予定の経営協議会までに、その他お気づきの点があれば連絡を願う。

## その他

- ONTCでの展示コーナーの件だが、4月からはJSCの担当になるとのことで、どのような印刷物を展示したいのか連絡がほしいとのことであった。
- 広報の機会があれば大学としても取り組んでいきたい。

以上